

小学校第3学年 道徳科 学習構想案（例）

日 時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所 3年〇組教室

指導者 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	家族愛（内容項目C（14）家族愛，家庭生活の充実）	
ねらいと教材	(1)ねらい 祖父母に対する千代の思いを考えることを通して、家族の一員として自分ができることをしようとする心情を育てる。 (2)教材名 千代の話 出典：「道徳教育用郷土資料 くまもとの心 小学校3・4年（熊本県教育委員会）」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	祖父母に対する千代の思いについて、自分の経験や友達の考えをもとに多面的・多角的に考えている。	家族の一員として自分ができることを考えている。
目指す児童の姿		
自分に対する家族の思いと重ね合わせ、家族の一員として自分ができることをしようとする児童		
主題に迫る学習課題（めあて）【本時】	本単元で働かせる見方・考え方	
家族にとって大切なことを考えよう。	家族について、自分との関わりで多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めていくこと。	
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
道徳科		
<p>総合的な学習の時間</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「地域の食のひみつを さぐるう」</p> <p>○ 地域の食について調べの中で、ゲストティーチャーから話を聞き、サラダ玉ねぎの収穫など、自分たちにもできる貢献の仕方があることに気付いたり、考えたりする。</p> <p>○ 自分たちの生活を支えている人々の努力に気付いて感謝し、自分たちでできることを考える。</p> </div>	<div style="border: 3px double black; padding: 10px;"> <p>「千代の話」（本時）</p> <p>C（14）家族愛，家庭生活の充実</p> <p>主題名 家族愛</p> <p>祖父母に対する千代の思いを考えることを通して、家族の一員として自分ができることをしようとする心情を育てる。</p> <hr/> <p>「電灯きねんひ」</p> <p>出典：「道徳教育用郷土資料 くまもとの心 小学校3・4年（熊本県教育委員会）」</p> <p>B（7）感謝</p> <p>主題名 高齢者への尊敬・感謝</p> </div>	<p>国語科</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ちいちゃんのかげおくり」</p> <p>○ 出征前の家族のかげおくりの様子や、家族とはぐれて一人ぼっちになってしまったちいちゃん的心情を読み取ることで、家族の絆や大切さを考える。</p> <p>「モチモチの木」</p> <p>○ 豆太の行動や会話、様子から、じさまを大切に思う豆太の気持ちを読み取る。</p> </div>

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所(ねらいや指導内容についての教師の捉え方)		
<p>本主題は、第3学年及び第4学年の内容項目「父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること」を基にしたものである。</p> <p>この時期の児童には、父母や祖父母への敬愛の念を深めるとともに、家庭生活に積極的に関わろうとする態度を育てることが大切である。そのためには、自分が具体的に家族の役に立つことができ、家族に喜ばれるという実感をもたせることが必要である。しかし、家の人から仕事を頼まれても快く引き受けることができない児童も少なくない。</p> <p>そこで、本主題では、千代の孝養を通して、自分の生活を振り返り、自分が家庭における重要な一員であることの自覚を深め、協力し合って楽しい家庭をつくらうとする態度を育てたい。</p>		
本単元における系統		
<p>小学校第1学年及び第2学年 内容項目C(13) (家族愛、家庭生活の充実)</p> <p>父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。</p> <p>教材名「わたしのたからもの」 出典：「平成28年熊本地震関連教材『つなぐ～熊本の明日へ～』小学校1・2年（熊本県教育委員会）」 主題名「たいせつな家ぞく」</p>	<p>小学校第3学年及び第4学年 内容項目C(14) (家族愛、家庭生活の充実)</p> <p>父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。</p> <p>教材名「千代の話」 主題名「家族愛」</p>	<p>小学校第5学年及び第6学年 内容項目C(15) (家族愛、家庭生活の充実)</p> <p>父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。</p> <p>教材名「ぼくがいるよ」 出典：「新・みんなの道徳5 (Gakken)」 主題名「かけがえのない家族」</p>
児童の実態（児童の学習状況や実態と教師の願い）		
<p>本学級の児童（ 名）</p> <p>■本主題に関する意識の状況</p> <p>(1) 家族にどんなことをしてもらってうれしかったですか。（自由記述）</p> <p>(2) あなたが家族のためにしていることはありますか。「ある」… 人 「ない」… 人</p> <p>(3) 家族はあなたのことをどう思っていると思いますか。（自由記述）</p> <p>■考察</p>		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #f8d7da; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>項目のみ記載しています。</p> </div>		
教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）		
<p>本教材は、9歳で父母と別れてしまった千代が祖父母を喜ばせることを自分の喜びとして、精一杯尽くし、その孝行ぶりが当時の殿様まで届き、褒美を賜ったという話である。教材には記載されていないが、祖母を背負ってお寺参りをし、耳の遠い祖母に住職の話を再度話したり、祖父がかわいがっていた馬をなくして気落ちしているときは、その姿を見るに忍びず、それまでに増して一だんと夜遅くまで木綿をひき、縫い物に励み、2年余りの後、自ら鹿児島県の出水まで馬を買いに出かけ、祖父を喜ばせたりという孝養もある。千代の心遣いを自分の行いと比べながら考えることのできる教材である。</p>		

3 指導に当たっての留意点

【導入・終末の工夫】(学習過程の工夫)

- 授業の導入場面では、家族のために行動した自身の経験を想起させ、児童が自分ごととして教材文を捉えられるようにする。
- 授業の展開場面では、児童に千代のように家族のために行ったときの思いを想起させ、千代の祖父母に対する思いと自分の家族に対する思いを重ねて考えさせる。また、事前にとった家族のメッセージを

もとに、自分の行いが家族の喜びにつながっていることを実感させ、家族はお互いが支え合い、協力し合う存在であることに気付かせる。

- 授業の終末場面では、本時の学習で考えたことや家族の思いを聞いて思ったことや考えたことを通して、今後の生活における心の持ち方を考える時間を十分確保する。

【発問の工夫】(指導方法の工夫)

- 児童が千代と自分の思いを重ね、共通点に気付くことができるように、千代の孝養を丁寧に押さえた上で中心発問を設定したい。その際、千代と自分を重ね合わせて考えることができるよう構造的な板書を行い、「千代の家族も自分の家族もお互いに協力して自分にできることをしていること」という本主題に迫ることができるようにしていく。

4 本時の学習

(1) ねらい

祖父母に対する千代の思いを考えることを通して、家族の一員として自分にできることをしようとする心情を育てる。

(2) 展開

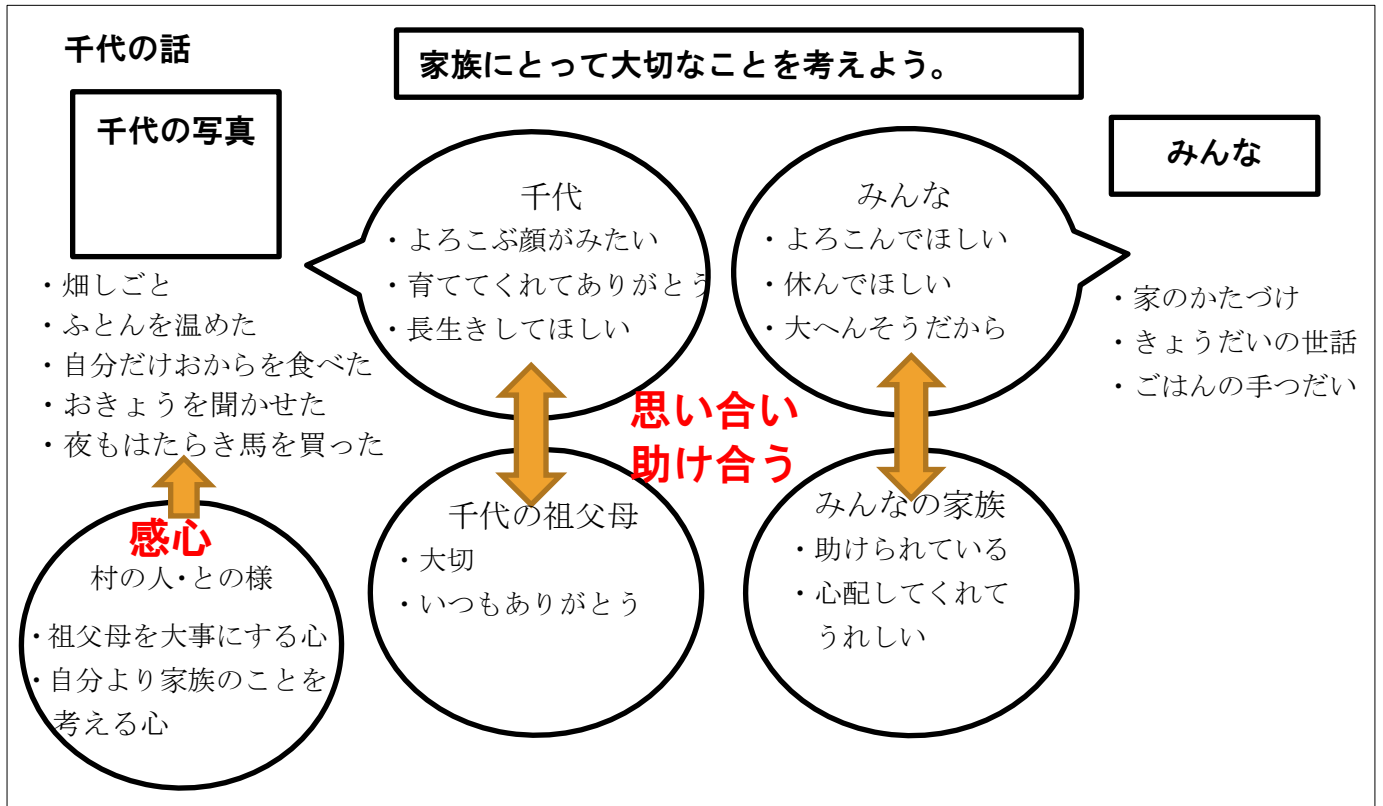
過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <p>①家族のために何かしていることはありますか。 ◇お手伝いをしているよ。 ◇兄弟の面倒を見ているよ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】 家族にとって大切なことを考えよう。</p> </div>	<p>○家族のために行動した自身の経験を想起させ、本時の学習課題につなげる。</p> <p>○津奈木駅前にある彫刻「千代」の写真を提示し、千代と家族の話をもとにねらいとする価値について考えることへの方向付けを図る。</p>
展開	30分	<p>2 教材を読み、道徳的価値について考える。</p> <p>①千代は、家族のためにどんなことをしていましたか。 ◇畑仕事を手伝っていた。 ◇ふとんをあたためていた。</p> <p>②千代はどんな気持ちで家族にいろいろなことをしていたでしょう。 ◇自分にできることをして役に立ちたい。 ◇家族を助けたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【中心発問】 ③千代の家族は千代のことをどう思っているでしょう。 ◇大切な存在 ◇家の仕事をしてくれてありがとう</p> </div> <p>④お家の人はみんなが家族のためにしていることをどう思っているでしょう。 ◇忙しいときにきょうだいの世話をしてくれるので助かる。 ◇病気のときに「大丈夫？」と心配してくれることが嬉しい。</p> <p>⑤家族にとって大切なことは何でしょう。 ◇お互いのことを思い合うこと。 ◇協力すること。</p>	<p>○千代が耳の遠い祖母のために住職の話を再度聞かせた話や、馬をなくし気落ちした祖父のためにお金を貯め、馬を買ってあげた話を補足する。</p> <p>○児童に千代のように家族のために行った経験や、そのときの思いを想起させ、千代の祖父母に対する思いと自分の家族に対する思いを重ねて考えさせる。</p> <p>○千代の祖父母に対する思いが強いことに気付かせるために、村の人や殿様が千代のどんな心に感心したのかを考えさせる。</p> <p>○祖父母も千代のことを大切に思っていることをおさえる。</p> <p>○事前にとった家族からのメッセージをいくつか紹介し、家族の思いを伝える。自分の行いが家族の喜びにつながっていることを実感させ、家族はお互いが支え合い、協力し合う存在であることに気付かせる。</p> <p>○千代と千代の家族のことと自分と自分の家族のことを重ねて考えさせる。</p>
終末	10分	<p>3 自分自身を振り返る。</p> <p>①今日の学習で考えたことやお家の人の思いを聞いて思ったこと、考えたことを書きましよう。 ◇自分がしていたことを家族が喜んでくれていることが分かって嬉しかった。これからも家族のために自分ができたい。</p>	<p>○自分と重ねて、これから家族の一員として自分ができたいことを書かせる。</p> <p>○本時の学習で考えたことや家族の思いを聞いて思ったことや考えたことを通して、今後の生活における心の持ち方を考える時間を十分確保する。</p>

【評価の視点1】祖父母に対する千代の思いについて、自分の経験や友達のををもとに多面的・多角的に考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】家族の一員として自分にできることを考えている。(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】



【ICT 活用計画】

教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

本時展開【電子黒板】

- ・教材文 DVD 視聴